

2022年、今年を「観光再生元年」に 「にっぽんの温泉100選」 35回記念 観光業界35年のあゆみ

観光経済新聞社主催の「にっぽんの温泉100選」は、1987年に本紙創刊1500号を記念して開始、2021年で第35回の節目を迎えた。第1回となる87年は国鉄の分割・民営化が実施され、日本航空が完全民営化された年でもある。世界的には「ブラックマンデー」と呼ばれる、ニューヨーク株式市場の大暴落があった。ここでは観光業界を中心に、35年の歩みを追った。

週刊
観光経済新聞
宿泊・旅行業・運輸・自治体(観光全般)

日本専門新聞協会加盟紙
国土交通省交通運輸記者会所属
発行所
東京都台東区池之端2-7-17
井門池之端ビル 110-0008
株式会社観光経済新聞社
電話 03(3827)9800(代)
FAX 03(3827)9730

北海道支局
札幌市中央区北6条西27丁目
1-3-705 電話 011(624)5030
FAX 011(621)2530

東北支局
山形市緑町4-14-57
電話 023(687)0702
FAX 023(687)0665

西日本支局
大阪府北区梅田1丁目11番4-1000号
大阪駅前南ビル 電話 06(6131)6914
FAX 06(7502)5850

購読料年間14,300円(税・送料込)
(税抜13,000円)
振替口座 00140-2-86888番
e-mail info@kankokeizai.com

業界の出来事 世界の出来事 日本の出来事

- 1987 4月 国鉄の分割・民営化
- 10月 ニューヨーク株式市場で「ブラック・マンデー」発生
- 1988 3月 青函トンネル開業
- 4月 本州四国連絡橋の瀬戸大橋開通
- 7月 東亜国内航空が日本エアシステムに社名変更
- 10月 日本交通公社がJTBに呼称変更
- 1989 1月 「昭和」から「平成」に改元
- 2月 吉野ヶ里遺跡発見
- 4月 消費税3%の導入
- 1990 4月 大阪で「国際花と緑の博覧会」開催(4月1日~9月30日)
- 11月 雲仙普賢岳が200年ぶりに噴火
- 1991 6月 雲仙普賢岳で大火砕流が発生
- 7月 東北・上越新幹線の東京駅乗り入れ開始
- 7月 観光交流拡大計画(ツー・ウェイ・ツーリズム21)策定
- 1992 3月 ハウスステンボス開業(長崎)
- 4月 東海道新幹線「のぞみ」登場
- 4月 観光事業振興助成交付金制度開始
- 6月 「地域伝統芸能等活用法」制定
- 7月 山形新幹線(福島-山形)開業
- 1993 7月 北海道南西沖地震
- 10月 第1回「地域伝統芸能全国フェスティバル」が石川県金沢市で開催
- 12月 白山山地、屋久島、法隆寺、姫路城が日本初の世界遺産に登録
- 1994 2月 日本の観光を考える「百人委員会」第1回会合
- 9月 関西国際空港開港
- 1995 1月 阪神・淡路大震災
- 3月 東京で地下鉄サンライン事件発生
- 6月 世界観光機関(WTO)アジア太平洋事務所大阪に開設
- 11月 パスポートの有効期間の延長
- 1996 4月 改正旅行業法で全旅行業者で海外旅行が取り扱い可能に
- 運輸省観光部「ウェルカムプラン21(訪日観光交流倍増計画)」提言
- 6月 改正旅館業法施行
- 11月 旅行、観光関係団体で「祝日三連休化推進会議」設立
- 1997 3月 秋田新幹線の盛岡-秋田間開業
- 4月 消費税5%に引き上げ
- 6月 コンビニで主催旅行商品の販売が解禁
- 7月 香港返還
- 10月 長野新幹線の高崎-長野間開業
- 12月 旅行業の登録および更新の登録の有効期限が3年から5年に延長
- 1998 2月 第18回冬季オリンピック長野大会開幕
- 4月 神戸淡路鳴門自動車道(明石海峡大橋)開通
- 11月 第1回「広域連携観光振興会議」(WAC21)が東北ブロックで開催
- 1999 1月 欧州連合(EU)の統一通貨ユーロが11カ国で導入
- 5月 西瀬戸自動車道(瀬戸内しまなみ海道)開通
- 12月 「観光産業振興フォーラム」が設立
- 2000 2月 改正航空法が施行され、航空の需給調整規制が廃止
- 3月 北海道の有珠山が約23年ぶりに噴火
- 7月 宿泊、飲食にかかる特別地方消費税廃止
- 5月 「日中文化観光交流使節団」5200人が訪中
- 7月 九州・沖縄サミット開催。2000円札発行
- 9月 東海地方に記録的豪雨。三宅島の火山活動活発化
- 中国からの団体観光ビザが解禁され、第1陣95人が来日
- 10月 鳥取西部地震
- 2001 1月 中央省庁の再編で「運輸省」は「国土交通省」、「運輸政策局観光部」は「総合政策局観光部」となった
- 日本交通公社が名称をジェイティービーに変更
- 3月 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開業
- 9月 米国同時多発テロ発生
- 東京ディズニーシー開業
- 11月 日本ツーリズム産業団体連合会設立
- 2002 1月 小泉首相主催「観光立国懇談会」設置
- 5月 FIFAワールドカップ日韓共同開催大会開幕

- 2002 5月 東京で「日中友好文化観光交流式典」開催
- 9月 小泉首相が北朝鮮を訪問
- 10月 日本航空と日本エアシステムが共同持ち株会社制へ
- 12月 東北新幹線八戸延伸。「はやて」開業
- 2003 1月 観光カリスマ選定開始
- 3月 イラク戦争勃発
- 5月 観光立国関係閣僚会議の開催
- 7月 観光立国行動計画策定
- 8月 沖縄都市モノレール(ゆいレール)開業
- 10月 東海道新幹線川駅開業
- 2004 3月 テレビドラマ「冬のソナタ」が人気に。韓流ブーム起こる
- 九州新幹線「つばめ」新八代-鹿児島中央間開業
- 10月 新潟県中越地震発生
- 2005 1月 ANAセールス&ツアーズがANAセールスに社名変更
- 2月 中部国際空港開港
- 3月 「日本国際博覧会2005」(愛知万博)開幕
- 4月 個人情報保護法施行
- 2006 2月 神戸空港開港
- 3月 北九州空港開港
- 7月 日中韓観光大臣会合開催
- 2007 1月 「観光立国推進基本法」施行
- 3月 能登半島地震発生
- 6月 「観光立国推進基本計画」の決定
- 7月 新潟県中越沖地震発生
- 9月 関西国際空港第2滑走路の供用開始
- 9月 日中国交正常化35周年を記念して日中双方3万人交流事業実施
- 郵政民営化
- 2008 1月 日本人の人口が1億2808万人でピークに達した
- 「観光圏」法を制定
- 2月 秋の「国民の日」確定
- 6月 岩手・宮城内陸地震発生
- 7月 洞爺湖サミット
- 9月 米国大手証券・投資銀行「リーマン・ブラザーズ」が経営破綻
- 10月 国土交通省の外局として観光庁発足
- 2009 1月 観光庁が「観光アクションプラン」を策定
- 3月 日台観光サミット開催
- 10月 日本航空など3社が会社更生法の適用を申請
- 2010 1月 茨城空港開港
- 7月 中国訪日個人観光ビザの基準緩和
- 10月 羽田空港新国際線旅客ターミナル供用開始
- 12月 東北新幹線が新青森まで全線開通
- 2011 3月 東日本大震災発生
- 九州新幹線全線開業
- 4月 日本観光協会と日本ツーリズム産業団体連合会が合併し日本観光振興協会設立
- ジャルパック、JAL ツアーズと合併
- 9月 台風12号による集中豪雨で和歌山県、奈良県などで土砂崩れ発生
- 復興庁発足
- 2012 2月 「観光立国推進基本法」閣議決定
- 3月 国内初のLCCビーチ・アビエーション就航
- 5月 東京スカイツリー開業
- 7月 岩国錦帯橋空港開港
- 12月 近畿日本ツーリストが持株会社に移行
- 2013 1月 新石垣空港開港
- 10月 台風26号により伊豆大島で大規模土流失災害が発生
- 2014 3月 羽田空港の国際線が大幅増便
- 4月 消費税8%に増税
- JTB国内旅行企画設立
- 9月 御嶽山噴火
- 2015 3月 北陸新幹線長野-金沢間開業
- 4月 文化庁が「日本遺産」を初認定
- 東武トップツアーズ発足

- 2015 6月 日韓国交正常化50周年
- 12月 政府が「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」を設置
- スカイネットアジア航空がソラシドエアに商号変更
- 2016 3月 北海道新幹線新青森-新函館北斗間が開業
- 4月 熊本地震発生
- 5月 伊勢志摩サミット
- 8月 「山の日」祝日化開始
- レゴランド・ジャパン開業
- 2017 4月 レゴランド・ジャパン開業
- 6月 住宅宿泊事業法(民泊新法)成立
- 2018 4月 国際観光旅客税(出国税)法成立
- 豊洲新市場開業
- 2019 1月 国際観光旅客税徴収開始
- 6月 G20大阪サミット開催
- 9月 ラグビーワールドカップ2019日本大会開催
- 中部国際空港のLCC向け「第2ターミナル」開業
- 2020 4月 国内の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け
- 政府が初めて「緊急事態宣言」発令
- 7月 Go Toトラベルキャンペーン開始
- 2021 7月 東京2020オリンピック開催(7月23日~8月8日)
- 8月 東京2020パラリンピック開催(8月24日~9月5日)

「にっぽんの温泉100選」

年	1位	2位	3位
1987	和倉(石川)	雲仙(長崎)	指宿(鹿児島)
1988	和倉(石川)	雲仙(長崎)	指宿(鹿児島)
1989	和倉(石川)	指宿(鹿児島)	雲仙(長崎)
1990	和倉(石川)	指宿(鹿児島)	雲仙(長崎)
1991	和倉(石川)	古丈(青森)	雲仙(長崎)
1992	古丈(青森)	山代(石川)	和倉(石川)
1993	古丈(青森)	和倉(石川)	山代(石川)
1994	古丈(青森)	秋保(宮城)	登別(北海道)
1995	古丈(青森)	登別(北海道)	雲仙(長崎)
1996	古丈(青森)	登別(北海道)	和倉(石川)
1997	古丈(青森)	和倉(石川)	雲仙(長崎)
1998	古丈(青森)	和倉(石川)	秋保(宮城)
1999	古丈・奥入瀬(青森)	登別(北海道)	和倉(石川)
2000	古丈・奥入瀬(青森)	登別(北海道)	草津(群馬)
2001	古丈・奥入瀬(青森)	草津(群馬)	登別(北海道)
2002	草津(群馬)	黒川(熊本)	黒川(熊本)
2003	草津(群馬)	登別(北海道)	由布院(大分)
2004	草津(群馬)	登別(北海道)	由布院(大分)
2005	草津(群馬)	登別(北海道)	由布院(大分)
2006	草津(群馬)	由布院(大分)	登別(北海道)
2007	草津(群馬)	由布院(大分)	黒川(熊本)
2008	草津(群馬)	登別(北海道)	指宿(鹿児島)
2009	草津(群馬)	登別(北海道)	由布院(大分)
2010	草津(群馬)	登別(北海道)	由布院(大分)
2011	草津(群馬)	由布院(大分)	登別(北海道)
2012	草津(群馬)	由布院(大分)	登別(北海道)
2013	草津(群馬)	由布院(大分)	登別(北海道)
2014	草津(群馬)	由布院(大分)	下呂(岐阜)
2015	草津(群馬)	由布院(大分)	下呂(岐阜)
2016	草津(群馬)	別府八湯(大分)	指宿(鹿児島)
2017	草津(群馬)	下呂(岐阜)	別府八湯(大分)
2018	草津(群馬)	別府八湯(大分)	下呂(岐阜)
2019	草津(群馬)	別府八湯(大分)	指宿(鹿児島)
2020	草津(群馬)	別府八湯(大分)	下呂(岐阜)
2021	草津(群馬)	下呂(岐阜)	別府八湯(大分)

全国のコンビニ
約58,000店舗で
観光経済新聞が
買える

QRコード

プリントサービス
Powered by SHINBUN

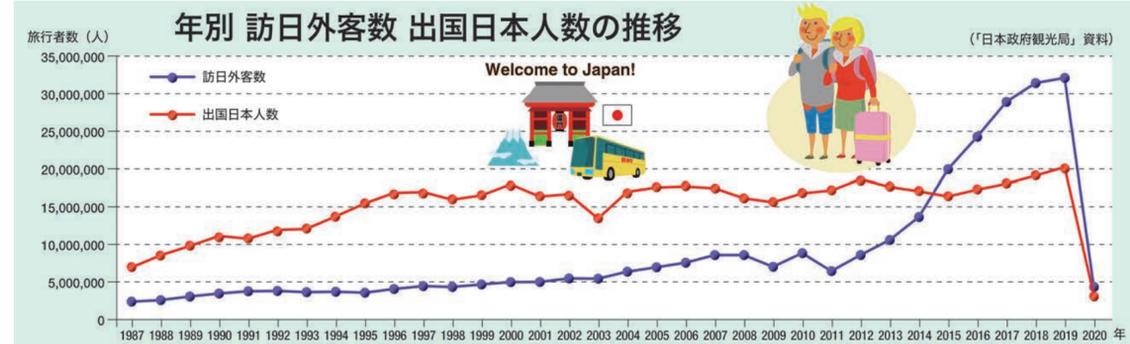
新年2週号

◎他面の主な記事

- ☆2・3面 専門紙誌共同キャンペーン「地方創生」
- ☆5面... キャラクター系旅行会社トップ対談
- ☆10・11面 国内OTAトップ座談会
- ☆14面 新春女将座談会
- ☆18・19面... ホテルグループトップインタビュー

輸入車情報
7-ワールドキャンペーン
マイカーで行く
5つ星の宿の旅

運営:(株)プロコローポーション
企画協力:観光経済新聞社



2015年に出国日本人数を上回って以降、訪日外客数は2019年にかけて大きく増加し、1987年比で約15倍となった。しかし新型コロナウイルスの感染拡大に襲われた2020年、出国、訪日ともに旅行者数は大きく減少した。21年も世界的にコロナ禍は続き、コロナ禍前ほどに旅行者数は回復していない。他国と比べ感染状況が落ち着いた見せる日本国内では昨秋から旅行需要が回復しつつあり、その中には「毎年海外旅行をしていたが、今年は国内旅行で」という声も多く聞かれる。コロナ禍の影響が続く22年、いまだ海外への渡航、海外からの訪日が難しく、日本国内各地の観光地や温泉地にとっては、海外旅行志向の強い旅行者に対しても国内各地の魅力を発信していく1年にしたい。

#EVモビリティが創る 新しい旅のカタチ。

BLAZEのEV商品を活用したレンタル観光業が各地で人気を集めています。電動バイクや電動ミニカーさえあれば、今日からここが目的地に。

イノスタ映え! 静かで気持ちいい 最高の思い出

株式会社ブレイズ

052-439-0277 center@blaze-inc.co.jp